

藤井達吉コレクションFT438

《絵巻「真鶴の庭の梅」》読み下し

凡例

- ・ 本稿は、愛知県美術館が所蔵する藤井達吉コレクションFT438《絵巻「真鶴の庭の梅」》に含まれる藤井達吉自筆の前書、短歌、跋文等のテキスト部分を読み下したものである。
- ・ 読み下しは、愛知県美術館友の会所蔵品管理サポート部会有志の協力を得て行われた。
- ・ 読み下しに携わった者は左記の通りである。(五十音順、敬称略)

大石悦子

荻野孝

加藤喜美代

丹阿弥彰子

富永晃一

平松章子

武藤和子

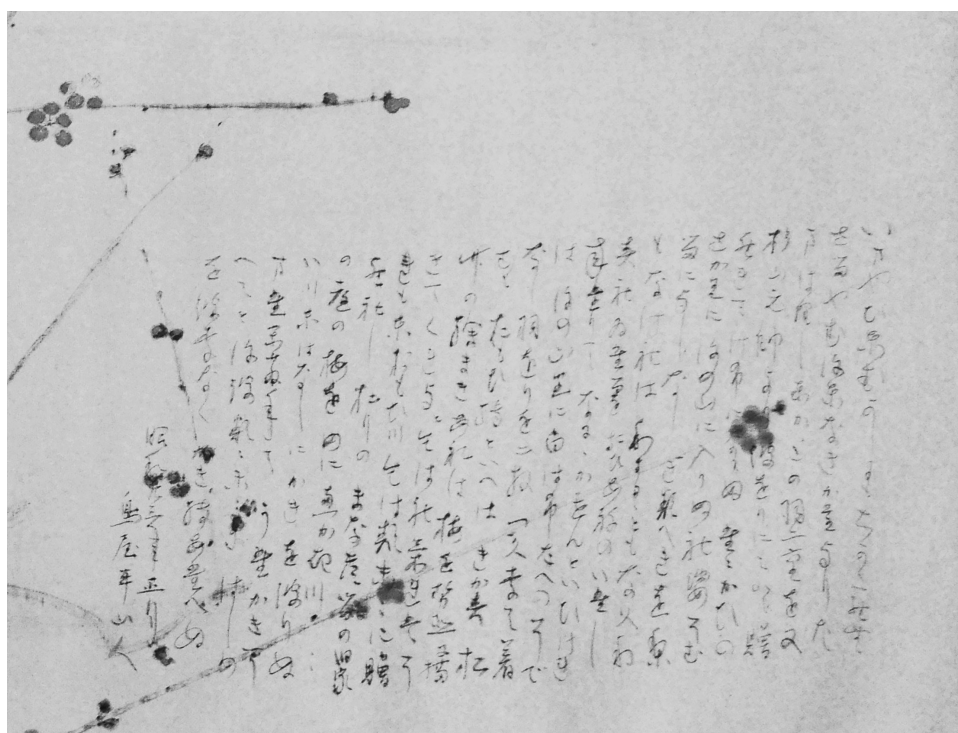
村尾哲

- ・ 構成は、上段に絵巻を配し、下段にくずし字の読み下し文、その下にかっこ書きで現代仮名遣い文を添えた。

編集 高木久子

FT438《絵巻「真鶴の庭の梅」》の基礎調査は愛知県美術館の平瀬礼太、中野悠が行い、高木久子が調査補助を行った。

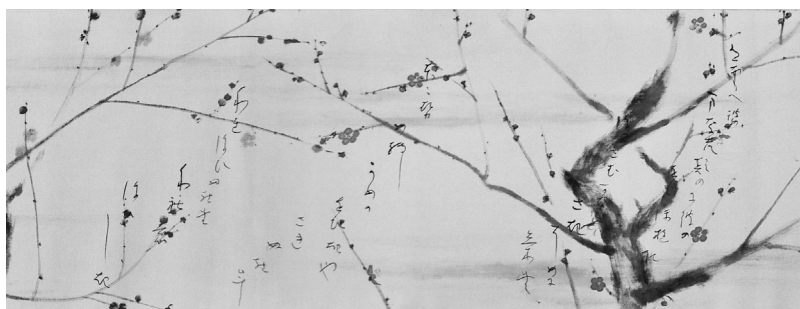
藤井達吉のテキストを読み下すにあたり、多大なご協力を賜りました愛知県美術館友の会所蔵品管理サポート部会有志の皆様および宮城県美術館の土生和彦氏に、心から御礼申し上げます。



い万やひ東む可し尔もち可、羅無（いまや一昔にも近からん）
 さ留やむ許東なきか堂与り太（さるやんごとなき方よりた）
 万は理し東加この羽二重を又（まわりしとかこの羽二重を又）
 杉山元帥与り波をりにも登贈（杉山元帥より羽織にもと贈）
 羅連天け布にな里ぬ 堂、かひの（られて今日になりぬ 戦いの）
 さかりに許の山に入りぬ札婆曾む（盛りにこの山に入りぬれば染む）
 留に与しなし き類へきを梨（るによしなし 着るべきおり）
 もなけ礼は 和する、ともな久わ（もなければ 忘る、ともなくわ）
 春礼の堂留を 於ひあ祢のい堂し（すれいたるを 老姉のい出し）
 来堂り天、ナル、か世んといひけ連（来りて 何にかせんと言けれ）
 は 許の山里に白は布たへの曾で（ば この山里に白羽二重の袖）
 なし羽をりを二枚つ久李天着（無し羽織を二枚作りて着）
 むと 於もひ轉といへは きか春 松（んと 思いてと言えは きかず 松）
 竹の絵まき安礼は梅を勢悲尔描（竹の絵巻あれば梅を是非に描）
 き天く連与と乞は札氣連盤曾（きてくれよと請われければそ）
 連も東於もひ川乞は類末、に贈（れもと思いつ請わるま、に贈）
 羅礼し於りのま奈都留の旧家（られし折の真鶴の旧家）
 の庭の梅をめに恵か起川、（の庭の梅を目に描きつゝ）
 い川東はなしにかきを波りぬ（いつとはなしに描き終わりぬ）
 万堂閑散年天 う堂かき曾（また重ねて 歌書きそ）
 へ天と許波類、末、尔 はしめ（えてと請わるま、に 始め）
 を波李なく加き轉あ堂へぬ（終りなく書きて与えぬ）

昭和廿三年正月（昭和二十三年正月）

鳥屋平山人（鳥屋平山人）



有^う面^めもへ婆^ば(梅思^めえば)

万^ま奈^な都^つ類^るの尔^に波^はの(真^ま鶴^つの庭^{てい}の)

を^をも保^ほ遊^{ゆう}礼^れ(思^おほゆれ)

許^このさむ可^か勢^{せい}二^に(この寒^{かん}風^{ふう}に)

さ^さ起^き(咲^さき)

曾^そめ尔^に(そめに)

気^け無^む(けん)

東^と勢^{せい}(十^{じゅう}年^{ねん})

め^め轉^てし(愛^{あい}でし)

う^うめ^めの(梅^{うめ}の)

を^をひ起^きや(老^{らう}木^{ぼく}や)

さ^さき(咲^さき)

ぬ^ぬ(ぬ)

羅^ら(ら)

牟^む(ん)

和^わ連^{れん} 許^こひぬ羅^ら無^む(吾^わ恋^こいぬらん)

和^わ礼^れ裳^も(吾^わも)

許^こひ(恋^こ)

し^し起^き(しき)



許^こ能^の(この)

い^い保^ほ二^に(庵^{あん}に)

う^うめ^めの(梅^{うめ}の)

ひ^ひ東^{とう}も東^{とう}(二^に本^{ぽん})

奈^なか李^り(なかり)

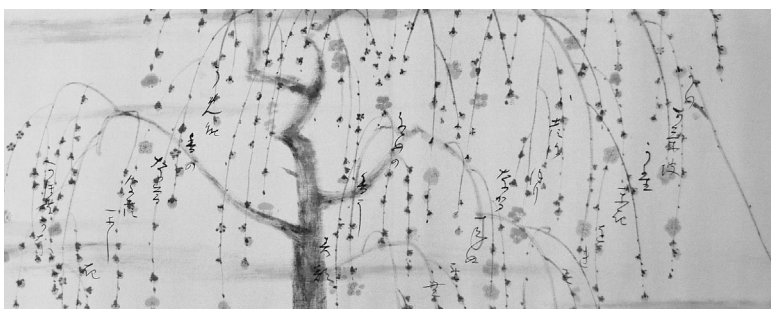
勢^{せい}婆^ば(せば)

奈^な保^ほ曾^{そう}(なおよ)

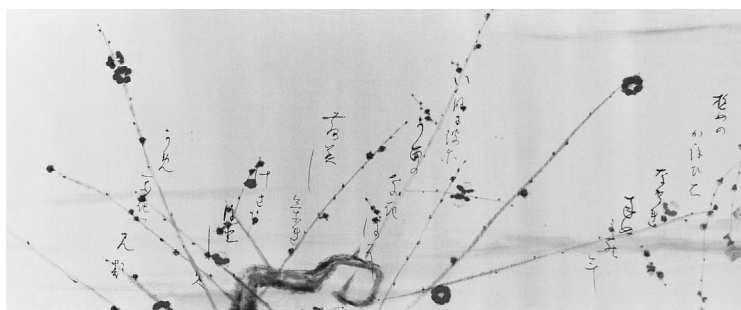
之^し努^ぬ波^は遊^{ゆう}(偲^{おも}ばゆ)

末^ま那^な都^つ類^るの(真^ま鶴^つの)

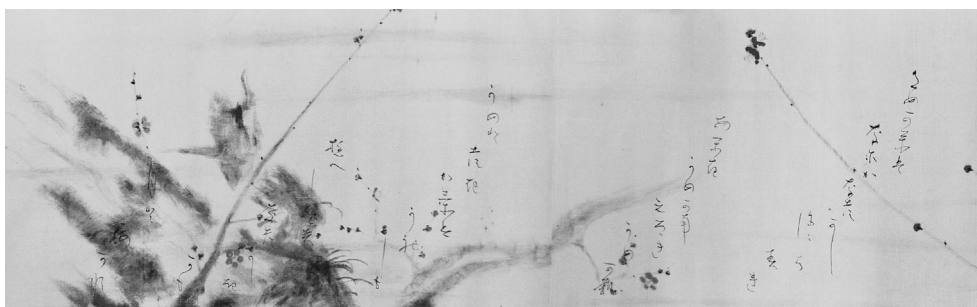
尔^に波^は(庭^{てい})



うめ(梅)
 可気波(描けば)
 う堂(歌)
 閑起(書き)
 を(お)
 連(れ)
 盤(ば)
 い都許(何処)
 餘り(より)
 奈駕(なが)
 来ぬ(来ぬ)
 羅(ら)
 無(ん)
 有めの(梅の)
 香曾(香ぞ)
 春類(する)
 う免能(梅の)
 香の(香の)
 奈曾(なぞ)
 奈都(懐)
 閑し(かし)
 起(き)
 可保李可奈(香かな)



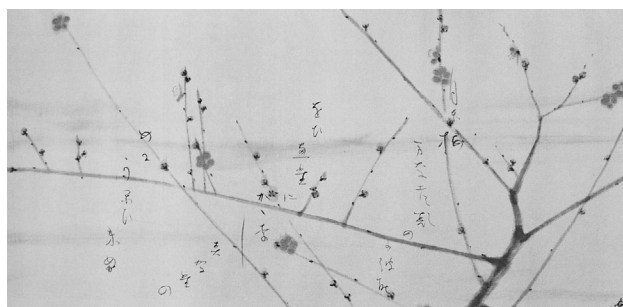
遊めの(夢の)
 か餘ひ知(通い路)
 奈駕連(流れ)
 来ぬ(来ぬ)
 羅(ら)
 卒(ん)
 い保尔波尔(庵庭に)
 う面の(梅の)
 奈起(なき)
 許曾(こそ)
 散美(寂)
 し気連(しけれ)
 けさも(今朝も)
 許悲(恋)
 し久(しく)
 う免能(梅)
 閑起天(描きて)
 見類(みる)



うめ^う可^か氣^け盤^{ばん} (梅^{うめ}描^えけ^ば)
 奈^な尔^にか (何^なか)
 奈^な都^と可^かし (懷^わかし)
 許^こ、ち (心^こ地^ち)
 春^{はる}連^れ (すれ)
 あ閑^あ起^か (赤^あき)
 うめ可^う南^な (梅^{うめ}かな)
 之^し呂^ろき (白^{しろ}き)
 うめ (梅)
 可^か難^な (かな)
 うめ登^う (梅^{うめ}と)
 都^と起^き (月^{つき})
 か氣^か盤^{ばん} (描^えけ^ば)
 うれ (嬉^{うれ})
 しも (しも)
 遊^{あそ}へ (故^こ)
 し羅^し春^{はる} (知^しら^ず)
 奈^な都^と (懷^わ)
 可^かし起^き (か^かしき)
 可^かも (か^かも)
 月^{つき}登^と (月^{つき}と)
 梅^う可^め那^な (梅^{うめ}かな)



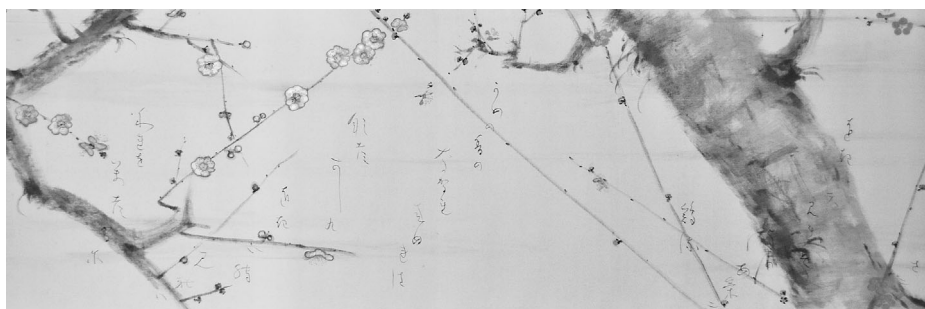
うめ (梅)
 可^か氣^け波^は (描^えけ^ば)
 月^{つき}曾^そ (月^{つき}ぞ)
 可^か起^き (描^えき)
 堂^た (た)
 久^く (く)
 奈^な李^り二^に (な^なり^に)
 け理^り (け^り)
 月^{つき}を^し (月^{つき}を^し)
 加^か氣^け波^は (描^えけ^ば)
 うめを (梅^{うめ}を)
 可^か起^き (描^えき)
 曾^そ布^ふ (添^そう)



月東梅 (月と梅)
 万奈都類の (真鶴の)
 尔波能 (庭の)
 をひ (老)
 惠堂に (枝に)
 か、李 (懸かり)
 し (し)
 春 (す)
 駕 (が)
 堂 (た)
 の (の)
 め尔 (目に)
 う閑ひ (浮び)
 来努 (きぬ)



あの (あの)
 惠堂二 (枝に)
 可、李し (懸りし)
 許餘ひ (今宵)
 十日月 (十日月)
 い祢轉 (居寝て)
 奈駕め都 (眺めつ)
 堂遅轉 (立ちて)
 奈駕無類 (眺むる)
 散無起 (寒き)
 布か夜 (深夜)
 月東梅の (月と梅の)
 許悲 (恋)
 し (し)
 さ (さ)
 二 (に)



を起(起き)

いた(いで)

見連盤(見れば)

与の(夜の)

あ気二(明けに)

鶏流(ける)

うめの香の(梅の香の)

奈駕連(流れ)

来ぬ連波(来ぬれば)

那都(懐)

可し九(かしく)

を起(起き)

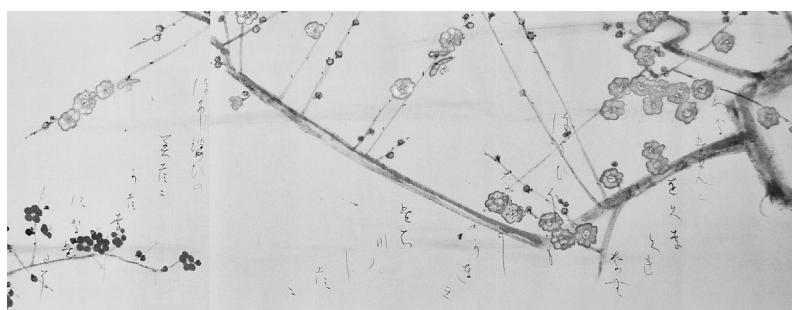
い轉(出で)

見礼八(見れば)

和連を(吾を)

萬都駕(待つが)

尔(に)



和駕(吾)

堂免二(ために)

を久李(送り)

久連(くれ)

奈無(なん)

許与ひ曾も(今宵ぞも)

奈川可し(懐かし)

う連之(嬉し)

堂知(立ち)

川久(尽く)

し(し)

都(つ)

、(、)

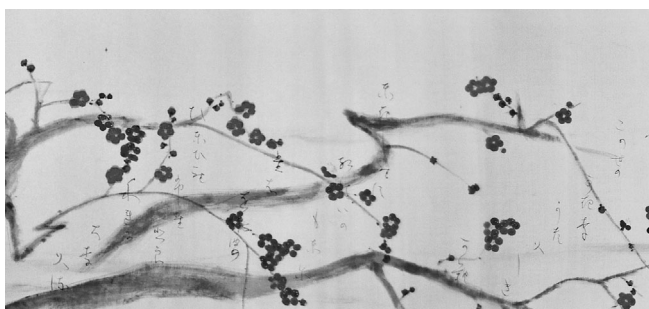
許布婆ひの(紅梅の)

美都二(水に)

う都李(映りし)

須駕堂(姿)

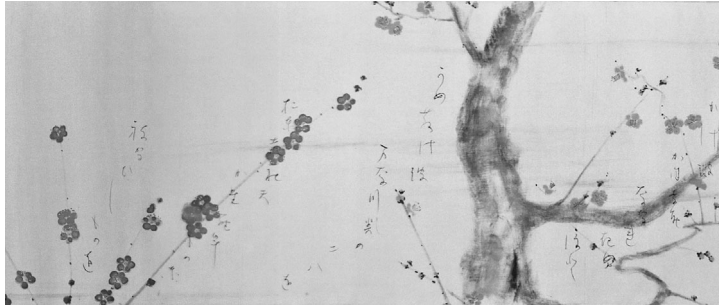
己曾(こそ)



この世の（この世の）
 可起李（かきり）（かぎり）
 う都（うつ）
 久（く）
 しき（しき）
 可難（かな）
 東起し羅須（ときしらす）（時知らず）
 紅波いの（こうは）（紅梅の）
 も東尔（もと）（下に）
 堂知（たち）（立ち）
 を礼婆（れいば）（おれば）
 ひ東ひ羅（ひと）（一ひら）
 布堂（ふた）（二）
 悲良（ひら）
 和連尔（われ）（吾に）
 知李（ちり）（散り）
 久流（くる）（くる）



ひ東悲羅を（ひと）（一ひらを）
 天尔（てん）（手に）
 う気（け）（もち）
 奈駕（な）（眺）
 む連波（むれは）
 奈都可しき可裳（なつか）（懐かしきかも）
 遊へ（ゆ）（故）
 之（し）（知）
 羅（ら）
 奈（な）
 九（く）
 二（に）
 う面（うめ）（梅）
 もへ波（もへ）（思えば）
 許（こ）（ろ）（心）
 春加（はる）（清）
 し久（し）（しく）
 奈李二（な）（二）
 け里（けり）



かけ波（描けば）
 か保李能（香の）
 奈駕連（流れ）
 起努（きぬ）
 許登（ごと）
 うめ（梅）
 散け波（咲けば）
 万奈川類の（真鶴の）
 二（に）
 八（わ）
 を（を）
 於東都礼天（訪れて）
 か堂羅牟（語らん）
 もの東（ものと）
 祢駕（願）
 ひし（いし）
 もの遠（ものを）



を悲ぬ連盤（老いぬれば）
 於登都類（訪る）
 春へも（すべも）
 奈加李（なかり）
 け李（けり）
 かき天（描きて）
 う堂ひ轉（歌いて）
 をもひ天（思い出）
 尔（に）
 世（せ）
 牟（ん）
 春己や可二をひや閑散年与（健やかに老いや重ねよ）
 万奈都類の尔波のむめの木（真鶴の庭の梅の木）
 和連奈和春連曾（吾な忘れそ）
 達翁

